

(新) 低炭素で成長する日本モデルの構築等事業

39百万円(0百万円)

地球環境局地球温暖化対策課

1. 事業の概要

大気中の温室効果ガスの濃度を安定化させるという「気候変動枠組条約」の目標の達成のためには、世界全体の排出量を自然界の吸収量と同等レベルにまで大幅に削減する必要がある。

気候変動を主要テーマとしたハイリゲンダム・サミット(2007年6月)に先立ち、我が国は「美しい星50」を打ち出し、世界全体の温室効果ガス排出量を2050年までに現状より半減するとの長期目標を提唱し、そのための手段として低炭素社会の実現を提案した。

我が国は、来年7月の洞爺湖サミットにおいて、「低炭素社会ビジョン」を提示するとともに、その具体的な姿を「低炭素で成長する日本モデル」として構築し、世界が参考とすることができるよう発信する。

2. 事業計画

「低炭素で成長する日本モデル」の構築

(我が国が提唱する低炭素社会モデルの構築)

...我が国の伝統及び環境・エネルギー技術や深刻な公害克服の経験・  
智慧を活かし、国土、産業、家庭等の各部門ごとに、低炭素社会づくりに向けた将来の姿を取りまとめる。

低炭素社会モデルの発信

...「2050年半減」の長期目標とその実現手段について途上国を含めた国際的な合意が得られるように、温暖化対策と公害対策を一体的に進めるコベネフィット対策を含めた環境と調和した美しい社会づくりを「日本モデル」として全世界に向けて発信していく。

3. 施策の効果

低炭素社会モデルの構築と発信を通じて、こうした社会に至るまでの政策面を含めた道筋(ロードマップ)が明らかとなり、我が国のリーダーシップのもと、「2050年半減」に向けた長期目標とその実現手段についての国際的な取組の促進へと繋がる。

4. 備考

調査費 39百万円

(内訳) 低炭素で成長する日本モデルの構築と発信等

39百万円

# 低炭素社会の近未来イメージ

## 低炭素な国土・自然・交通

### 自然と共生できる暮らし

< 森林との共生 >  
 吸収源機能向上  
 木材生産とバイオ  
 エネ供給



木くずだきボイラー

< 自然の教育効果 >  
 自然保全・教育

### 低炭素な交通システム

高度道路交通システム、エコドライブ  
 高効率鉄道・飛行機・船舶の利用  
 バイオ燃料や水素等の低炭素エネ利用促進  
 高効率燃料電池自動車、電気自動車の普及

### 低炭素なまちづくり

適切な人口密度(コンパクトシティ)、移動距離の短縮・公共交通機関の利用増加  
 地産地消、地域ブランドなどによる一次産業の活性化

## 地産地消の推進に向けて

～消費者と生産者の  
 「顔が見え、話ができる」関係づくりを目指して～



(地産地消)

農林水産省 生産局

## 低炭素な産業・業務

### 低炭素オフィス

ビルエネルギーマネジ  
 メントシステム  
 省エネ建築物  
 ITの進展(ペーパー  
 ス)  
 リサイクル進展

### 低炭素生産システム

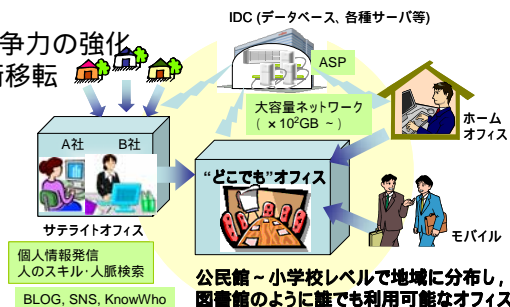
高効率ボイラ  
 工場で発生した余剰熱の  
 スケード利用、民生で再利用  
 炭素隔離貯留の有効利用

### 低炭素エネルギーの活用

残渣系バイオ燃料利用  
 太陽熱温水器  
 太陽光発電  
 天然ガス燃料転換  
 原子力発電の推進  
 石炭利用のクリーン化

### 低炭素ビジネスの展開

< 新産業発展像 >  
 エコビジネス教育  
 低炭素技術開発による国際競争力の強化  
 途上国への戦略的な環境技術移転  
 < ワークスタイル >  
 SOHO(在宅勤務)などの推進



[SOHOの例]

## 低炭素な住宅・家庭

### 意識改革 = ライフスタイルの転換

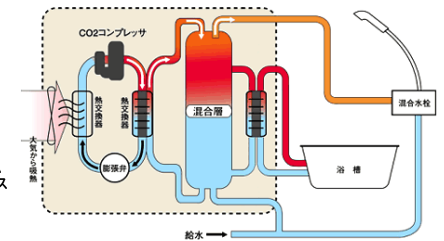
エコライフの実践  
 環境負荷表示システム(家電・自動車  
 標準装備)

### 太陽光の活用

太陽光発電  
 太陽熱温水器  
 屋上緑化

### 省エネ機器と高断熱 住宅の大幅普及

高効率照明  
 [白熱電球 蛍光灯、  
 HIDランプ、LED等]  
 高断熱住宅  
 超高効率エアコン  
 待機電力削減  
 ヒートポンプ給湯  
 燃料電池コジェネ



[ヒートポンプ給湯器]